

# 未来へつなごう

コープデリは「未来へつなごう」をスローガンにSDGsの取り組みを進めています。美ら島応援もずくプロジェクトは「未来へつなごう」の一つです。

## 対象商品の一例



産直 沖縄県伊平屋産 味付太もずく(土佐酢)

## 新商品登場!



産直 沖縄県伊平屋産 もずくとおくら・長手の とろろスープ

伊平屋産もずくに、もずくとよく合うネバネバ食材のおくら・長手と、だしのきいた醤油ベースのスープをセットした冷凍ミールキット。

宅配で8月3回・9月2回に取り扱う予定です。

コープデリグループでは、35年以上の長きにわたり、伊平屋産のもずくを販売・産直産地として、島と親交を深めてきました。産地との交流の中で島の現状を知り、「伊平屋島の自然を守りたい」と2010年に始めたのが、「美ら島応援もずくプロジェクト」。伊平屋産のもずく商品のお買い上げ1点につき1円を「コープデリ美ら島応援基金」に寄付し、寄付金はごみの運搬・処理や砂地の浄化といった自然環境保護活動など

## 食べることで生産者を応援できる

に活用されます。おいしいもずくを食べることで、島の美しい自然を守ることができま



役員員・組合員理事が島を訪問し、海岸清掃に参加しました

2022年度寄付額 154万8,758円  
累計寄付額 1,728万4,210円



ウミガメを育む「伊平屋産もずく」を、ぜひご賞味ください

沖縄県島尻郡伊平屋村 村長 名嘉 律夫さん

伊平屋村は、豊かな自然環境を守りながら農林水産業を基幹産業とする小さな離島です。本村のもずくは、透き通る海と漁業者の努力によって養殖される特産物ですが、その海岸はプラスチックを中心とした漂着ごみが毎年大量に押し寄せます。昨年も、実に89トンものごみを回収し、その処理におきましては、皆さまからあたたかいご支援をいただき心から感謝いたします。これからも、おいしいもずくをたくさん食べて、美ら島おきなわ・伊平屋産もずくを応援していただきますようお願いいたします。

これからも良質なもずくを生産します



伊平屋村漁業協同組合 組合長 新垣 雅士さん

この取り組みが始まり13年目、毎年多額の基金のご寄付をいただき心より感謝申し上げます。今年は4年ぶりにコープデリグループの役員員・組合員理事の皆さまが伊平屋島を訪れ、もずくや環境に対する思いを語り合い、交流させていただきました。その際、多くの組合員さんからの心温まるメッセージをいただき、皆さまと我々生産者がかたい絆で結ばれていることを実感しました。経済情勢の変化で大変厳しい状況が続きますが、良質なもずくを生産し、組合員の皆さまへお届けしますので、今後とも伊平屋産もずくをご愛顧くださいますようお願いいたします。

もずくの収穫はバキュームでの吸引。ホースが付いた機械で、海中に潜って収穫します



沖縄・伊平屋産もずく商品の売り上げの一部を、島の自然環境の保護に役立てる「美ら島応援もずくプロジェクト」。もずくをおいしく食べることが、美しい砂浜や島の人々の暮らしを守るにつながります。



伊平屋島 フェリーで約80分

## 自然豊かな「美ら島」伊平屋島

どこまでも続く透き通った海。真っ白な砂浜。沖縄県の最北端にある伊平屋島は、「沖縄の原風景」と言われる豊かな自然が残り、絶滅が心配されるウミガメの数少ない産卵場所です。豊かな海の中で養殖するもずくは、島の特産物。透明度の高い海を通して、もずくに太陽の光がさんさんとあたります。さらに砂浜からの照り返しも受け、光合成を促進。太く枝分かれが多く、ぬめりと歯ごたえのあるおいしいもずくに育ちます。

## 脅かされるウミガメのふるさと

しかしその島の砂浜に、海から大量のプラスチックごみが流れ着いています。ごみがあるとウミガメは砂浜に上陸できず、産卵ができません。島をあげて海岸清掃を行っています。島にはごみの最終処分施設がないため、沖縄本島までごみを船で運ばなければなりません。その費用は、島の大きな負担となっています。



# 美ら島応援もずくプロジェクト

伊平屋島がこの先もずっと、美しい島でありますように

動画も公開中!



コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12:

つくる責任 つかう責任

につながっています。

